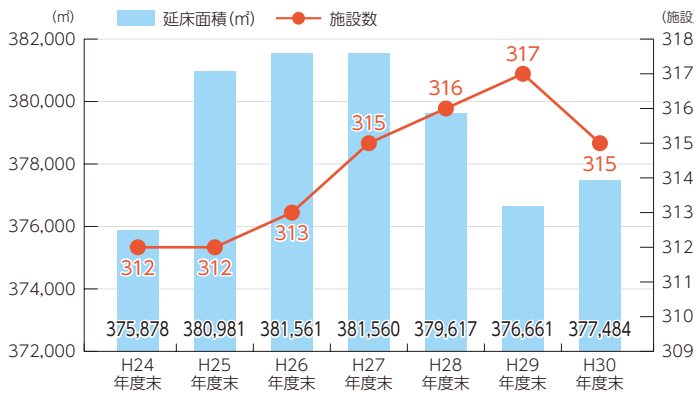


安定的な公共サービスのために 公共施設の現状をお知らせします

⑩10001514

本 市では公共施設の計画的な更新・集約化・長寿命化など、総合的な公共施設マネジメントに取り組んでいます。

今回、平成30年度末における公共施設(建築物)の現状をお知らせします。



施設数・延床面積の推移

維持管理費、工事・修繕費の状況 (平成30年度)
公共施設の維持管理、更新などに要した費用は、約55億円となっており、そのうち平成30年度は、親子交流館の建設による「児童福祉施設」に関する費用が大きく増加している他、学校の統廃合に関連して「学校教育施設」も費用が増加し、全体に係る経費の半分以上を占めています。



本市が保有する公共施設(建築物)は、平成30年度末現在、315施設、延べ床面積で約38万㎡となっており、平成29年度に比べ、施設数は2施設減少し、床面積は約800㎡増加しました。
平成30年度は、山北保育園や和地保育園を解体しましたが、親子交流館や消防団詰所などの建設により床面積は増加しています。

(単位:千円)

用途	維持管理費 (人件費含む)	工事・修繕費	計
庁舎等施設	172,152	13,701	185,853
市民館等施設	122,038	42,373	164,411
生涯学習施設	319,349	8,950	328,299
文化施設	152,504	16,898	169,402
体育施設	123,364	93,937	217,301
児童福祉施設	1,180,223	686,185	1,866,408
衛生施設	262,944	35,166	298,110
保健福祉施設	195,874	14,644	210,518
産業振興施設	94,345	21,503	115,848
観光施設	76,370	25,812	102,182
公営住宅等施設	76,009	85,864	161,873
消防施設	45,955	4,639	50,594
学校教育施設	1,193,523	362,996	1,556,519
その他施設	111,515	9,945	121,460
合計	4,126,165	1,422,613	5,548,778

公共施設の有効活用

10月、市内にある教育サービスを集約したふるさと教育センターがオープンしました。この施設は、平成27年度に廃校となった野田中学校校舎を活用しています。
今後も、保有する施設は、必要な改修・修繕の優先順位を定め、施設の質を確保するとともに、配置や機能の見直しを図り、保有総量を削減し、未来に負担を掛けない行政運営に取り組んでいきます。
皆さんのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

企画課 ☎23-3507

公共施設とは

国や地方自治体(県や市町村など)が建設する施設。本市では市民館や学校、文化会館などのいわゆる「ハコモノ」と呼ばれるものだけでなく、道路や橋・下水道などのインフラも含め公共施設と捉えています。



▲庁舎等施設



▲文化施設



▲児童福祉施設



▲学校教育施設